

2025 年度 一般社団法人 日本臨床検査専門医会 定時社員総会議事録

開催日時：2025 年 5 月 23 日（金）16 時 50 分～17 時 30 分

開催会場：札幌アスティ 45ACU-A16F 会議室 1614

<総会の成立>

司会者村上正巳庶務担当常任理事より、現地参加者 36 名および委任状 254 通をもって、定款 17 条の定める定足数(議決権を持つ会員 579 名の三分の一以上)を満たしたため、本会の成立が報告され開会が宣言された。

定款 15 条により、議長はベ谷直人理事長が務めることとなった。

<審議事項>

第一号議案 議事録署名人の選任

定款第 18 条 2 項による議事録署名人の選任につき、議長が 2 名を提案し議場に諮ったところ満場異議なく、次の通り選任された。

議事録署名人 浅井 さとみ 先生
同 田部 陽子 先生

第二号議案 2024 年度決算の承認（2024 年 4 月～2025 年 3 月分）

増田亜希子会計担当常任理事より、資料の正味財産増減計算書について報告説明があった。まず、昨年度の年次大会で赤字幅が大きかったため、補正予算を編成した旨報告があった。収入について、ほぼ予算通りである。年次大会収入は、補正予算編成時に実数を入れているので予算と同額になっている。以前は別立てしていた生涯教育講演会収入は実際に合わせ、2024 年度より、年次大会参加費に含めた。支出について、人件費は事務局員減員により支出減である。通信費・印刷費などが予算を大きく上回っているが、種々の送料値上げ、LabCP の定期刊行により増額である。また、会員管理システムを新規導入したため、会員管理委託費に初期費用が計上されている。今年度は 200 万円以上の赤字という結果になったが、第 3 回年次大会の赤字、システム導入、前年度まで LabCP が不規則発行であったことなどが起因しており、単年度の赤字とみられ、次年度以降赤字が継続するとは考えにくいと説明した。次に、資料の貸借対照表を示し、当年度正味財産合計と正味財産計算書の期末残高の一致を確認した。続いて、東條尚子監事より添付の監査報告書に基づき、4 月 23 日に日本臨床検査専門医会事務局において、菊池春人監事とともに、村上正巳庶務担当常任理事、増田亜希子会計担当常任理事同席のもと事業報告および決算報告について、定款 38 条通りに監査を行った旨の報告があった。事業報告については特に問題がないことを確認した。決算報告については、帳簿、証憑類、通帳等を突き合せたうえで確認をしたが、こちらも適正に行われていること、残高に相違ないことを確認した。

以上の報告後に、決算報告の承認について議場に諮ったところ、満場異議なく承認された。

第三号議案 2025-2026 年度理事・2025-2028 年度監事の承認

本定時社員総会の終結時に、現行の理事全員、監事全員が定款 23 条に基づき、任期満了し、退任することになるので、改選の必要があることが説明され、資料の通り、選挙理事候補者、指名理事候補者、監事候補者が提示され、議長が議場に諮ったところ満場異議なく、承認された。次期役員は理事 16 名、監事 2 名体制。

1. 理事候補者

1). 選挙理事

伊藤 弘康
金子 誠
鯉淵 晴美

藤田医科大学医学部臨床検査科
三井記念病院臨床検査部
自治医科大学臨床検査医学講座

重任

田部 陽子	順天堂大学薬学部	重任
増田 亜希子	虎の門病院分院臨床検査部	重任
松下 一之	千葉大学医学部附属病院検査部	重任
村上 正巳	国際医療福祉大学病院臨床検査部	重任
山口 宏茂	(株)兵庫県登録衛生検査センター	
山田 俊幸	群馬パース大学医療技術学部検査技術学科	重任

2).指名理事

浅井 さとみ	東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学	重任
今井 裕	三重大学医学部附属病院病理部	
植木 重治	秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学講座	重任
上岡 樹生	天理よろづ相談所病院臨床検査部	
北中 明	川崎医科大学検査診断学（病態解析）	重任
幸村 近	北海道医療大学医療技術学部	重任
橋口 照人	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学分野	重任

2. 監事候補者

べ谷 直人（国際医療福祉大学熱海病院検査部）	2025-2028 年度
【継続】	
菊池 春人（済生会横浜市東部病院臨床検査科）	2023-2026 年度

〈報告事項〉

1.2024 年度事業報告（2024 年 4 月～2025 年 3 月分）

村上正巳庶務担当常任理事より資料に基づき報告があった。
当該年度活動について資料を示し、会誌の定期刊行の他、年次大会、セミナー、検査に関する広報活動などを積極的に行ったこと、役員改選選挙を行ったことなどが報告された。

2.2025 年度予算・事業計画

増田亜希子会計担当常任理事より、資料を示し説明があった。収入に関しては例年通りの額を計上している。年次大会については第 4 回年次大会収支予算書に基づき計上した。支出について、家賃上昇で事務局維持費が増加したが、人員減のため、事務局人件費を削減している。会員管理委託費は増加しているが、システム導入により、通信費・印刷代や人件費の削減が見込まれるため理解をしていただきたい。

村上正巳庶務担当常任理事より資料に基づき、2025 年度年間行事予定について説明があった。ほぼ例年通りの活動を予定している。

3.各委員会活動報告

1.情報出版委員会(委員長：福地邦彦 村上庶務担当常任理事による代読)

例年の活動である、LabCP(Laboratory and Clinical Practice)、JACLaP News の発行、JACLaP WIRE の配信、ラボ(日本衛生検査所協会広報誌)の専門医会頁担当について予定通り実行した。

2.教育研修委員会（委員長：鯉淵晴美）

第 93 回教育セミナーをオンデマンド開催した。本セミナーは以前、対面式で行っており、専門医試験の受験者の交流の場となっていた。その穴埋めのため、新しい試みとして「合格者と受講者のつどい」を ZOOM で開催した。セミナー講師を務める等協力してくれた先生方へ謝辞を述べた。また、日本臨床検査医学会主催のハンズオンセミナーに共催した。

3.資格審査・規定改定委員会(委員長：田部陽子)

5 月 23 日現在、2025 年度 14 名の入会希望者があり、全員の入会資格審査を行い、理事長へ承認依頼した。主に教育セミナー受講を希望される方である。また、謝金・旅費規定の改訂につき、委員会審議を行い、理事会へ提出した。シンポジウム等時間分担のある講演について、謝金の案分を検討したものである。

4). 渉外委員会(委員長：幸村近)

2025 年 7 月に開催する臨床検査振興セミナーについて、説明した。目的は賛助会員と会員の交流であり、多くの会員の参加を募りたいと発言した。また、今年度も「全国検査と健康展」が開催された場合、会員へ出務協力を依頼する予定である。

5). 保険点数委員会(委員長：松下一之)

現在、令和 8 年の診療報酬改訂を臨床検査医学会と共同で逐次進めている。本会からも複数の提案をする予定である。

6). 広報ネットワーク委員会(委員長：尾崎敬)

レジデントノート(羊土社)の掲載、霞が関子供デー等、検査医学会との共催による JACLaS 展示を担当した。昨年の霞が関子供デーは過去最高の参加者だった。11 月には臨床検査の日に関する広報活動をした。この広報活動は昨年より、専攻医に協力依頼し、出務者には参加証を発行している。

4. 第 72 回日本臨床検査医学会学術集会 (2025/8/28-31：幕張) 中行事について

山田俊幸副理事長より、総会講演会、共催シンポジウムの企画について説明があった。総会講演会は専門医共通講習 B「医療福祉制度」を申請予定である。

5. その他

・臨床検査セミナーについて

鯉渕晴美教育研修委員会委員長より、日本臨床検査医学会主催、本会共催の「第 2 回医学生・研修医のための臨床検査セミナー」について募集要項、内容などの説明があった。総会に参加している先生方へ、所属施設での広報を依頼した。

・第 5 回年次大会準備状況について

来年は松下一之大会長(千葉大学)のもと、2026 年 5 月 23 日・24 日、東京都墨田区にある千葉大学サテライトキャンパスで開催が予定されている。現在プログラムを作成中である。

〈閉会〉

すべての審議、および報告が滞りなく終了したため、閉会が告げられた。

総会終了後、別室にて第 3 回理事会を開催し、理事長を選出する。選出の結果は情報交換会で出席者に報告する予定と案内があった。

議事録署名人

2025 年 6 月 8 日

浅井 さとみ

2025 年 6 月 11 日

田部 陽子

理事長

2025 年 6 月 14 日

ベ谷 直人